

崖線の土留め

西府崖線では土砂の流失防止の為、竹を使用し土留め柵を設置しました。

2022年1月



2023年10月



崖線下層の箇所では土砂が定着し、キランソウが繁茂していました。 2023年10月



選択除草の効果

選択除草では外来種を取り除く事で、本来この地域で生息する在来植物が見られるようになります。従来の管理では繁茂した草本類を草刈として刈っていましたが植生調査をした結果、様々な在来種があることがわかりました。時期毎に植物の開花・結実を確認して管理する事で在来種は増えていきます。また時間の経過により、新たに出現することもあります。外来種の除去と言っても長年のこぼれ種などや風等で漂着した種など、様々な要因があり、簡単にはなくすことはできませんが、継続する事で抑制をしていけます。また在来植物も希少種だけではなくありふれた植物を保護することも忘れてはなりません、様々な種類が共存し環境をつくることで生物多様性になっていきます。